

## リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立本町小学校

## 【取組内容①】 Googlesiteを使った個別最適な学びと協働的な学び

Googleサイトを使い、1つの単元の内容を集約し、児童の考えをスライドにまとめた。

スライドを使うことによって上位の児童は教科書や動画を参考にしながら課題に対する考えをまとめ、下位の児童はそれを参考にしながらまとめることができた。

また、上位の児童は中位以下の児童の補助に回ったり、動画を見ながら自由に学習に取り組んだり、下位児童は教師と一緒にゆっくりと学習に取り組んだりすることができた。

その結果、Googleサイトを使っていなかった1学期は知識・技能でAの児童が11名、思考・判断・表現でAの児童が6名、総合的にAの児童が9名だったのに対し、Googleサイトを活用した2学期は知識・技能でAの児童が11名、思考・判断・表現でAの児童が10名、総合的にAの児童が11名と、思考・判断・表現力の伸びが見えた。



米のとれ具合

①米のとれくあいを比べるにはなにが分かればよいのか説明しよう  
面積と、米の取れた多さが分かれればいい

A式 $570 \div 11 = 51.81818182$ を四捨五入して52  
A52キログラム  
B式 $680 \div 14 = 48.5714285714$ を四捨五入して49  
A49キログラム

A  
Aの畑のほうが取れている

なぜこの答えになるのかという点とまず $570 \div 11$ の答えを四捨五入して52になります。次に $680 \div 14$ の答えを四捨五入して49答えは大きいほうが取れているのでAの畑になります。

# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立本町小学校

## 【取組内容①】 Googlesiteを使った個別最適な学びと協働的な学び

Googleサイトを使って、器械運動の技の構成の確認をしたり、動画サイトを埋め込んで手早く資料として活用できるようにしたりして、場の作り方を図で提示し、児童が素早く動けるようにした。

ふりかえりはスプレッドシートに書かせることで一括で管理できるようにした。児童に指示を出す時間が短縮され、児童自身が自分の課題を見つけ、解決方法を考えながら場を選択して練習に取り組むことができた。

児童がお互いにアドバイスをしながら運動に取り組むようになったため、運動量が以前より増えた。全員が開脚跳びをできるようになり、9割の児童が台上前転をできるようになり、8割の児童が抱え込み跳びをできるようになった。



ふりかえり	
僕は普通の抱え込み飛びができるようになったので次の時間には大きな抱え込み飛びをできるようにしたいです。	
また、こえられないから、次はできるようにしたい。	
出来なかった	
抱え込み跳びは、普通に足もまたげたけど最後の着地が一步動いたりしゃらう着地を気をつけて行きたいです。	
抱え込み跳びのやり方やコツを覚えた。課題は横で跳ぶのできたから縦でも飛べるように挑戦してみたいのと、きれいに飛んだり着たりできるようにする。	
抱え子に飛びの跳び箱のためにバージョンでも成功させることができてよかったです	
大きな台上前転ができなかったけれど台上前転ができた。	
あと頭の後ろをつけるだけで首はね飛びがきそう	
抱え込み跳び、みたいのができてよかったです。課題：手の付き方、ふみきり	
他の飛び方にチャレンジしました。まだその技はできなかったのですが、できるようにしたいです。	
橋がらずに抱え込み飛びを飛べるようになった	
足をもっと上げれば、かかえ飛びができると思います。また、自分の課題を見つけたいです。	
抱え込みはできたけど、まだ勢いが少し足りないので次回でできるようにしたいです。	
抱え込み跳びで跳び箱を立てたのでもうちょっとです。	
だいたい覚えていけるようになりました。だけど、おきかないきょくとびができませんでした。	
踏み台のジャンプ力や、ジャンプしたときに足が邪魔にくっついていないのでそこを直したいです。	
抱え込み跳びはできなかったけれど跳び箱に足を少し乗せることができたので、次の時間の課題は跳び箱の真ん中で足を乗せること、場を作る時間を縮めることができました。	
抱え込み跳びで、跳び箱にかかどだけついてしまったから、今度はできるようにしたい。	
抱え込み跳びはなんとかできたので、次の時間には、もっと上手に飛べるようにしたいです。	

# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立本町小学校

## 【取組内容④】 Googleサイトを使った学校ポータルサイトの作成と職員会議の情報化

Googleサイトを使い、行事予定や職員集会の資料に一括でアクセスできるようにした。また、問題集やハンドブックなどの有用な資料をまとめておくことで、どこに何があるのかを把握しやすくしている。

職員会議資料をデータ化し、表紙にリンクをつけることで表紙だけ開けば素早く行事などの資料を確認できるようにしている。

協働編集ができるようになっていたため、会議で修正があった際にはその場でデータを修正することができるようになり、効率化につながっている。

